

公益社団法人日本鑄造工学会 長期ビジョン委員会活動報告

活動テーマに関する意見交換会 & ビジョン正式始動 宣言

‘22年5月21日

〔本日の進め方〕

1. 会長挨拶 会長 清水 一道 5分
2. 長期ビジョン ロードマップ策定活動 長期ビジョン委員長 白川 博一 15分
3. 活動テーマ報告 & 意見交換
〔若手人材育成〕
 - ① 鋳造の基礎技術講座 +「今さら聞けない〇〇学」 企画委員長 菅野 利猛 5分
 - ② 学生向け「鋳造技術方案勉強会」 企画実行委員 茂泉 健 10分
 - ③ 支部行事 全国展開 & オンデマンド講座 人材育成委員長 吉田 誠 5分

————— 質疑応答 15分 —————

〔学会の知名度向上〕
 - ④ 学会ホームページ リニューアル 広報委員長 野田 善之 3分
 - ⑤ 非会員・学生向け向けコンテンツ発信 広報委員長 野田 善之 4分
〔SDGsに繋がる基礎研究〕
 - ⑥ 新たな研究部会設置 「カーボンニュートラル」 会長 清水 一道 5分

————— 質疑応答 20分 —————
4. 長期ビジョン ロードマップ正式始動 宣言

1. 清水会長 ご挨拶

(公社) 日本鑄造工学会の2020・2021年度 スローガン

【新しい風を吹かせる】

戦略課題の検討にあたって

【第3期ビジョンでの取り組み】

- ・2030年までに達成すべき
国際社会共通の目標【SDGs】を達成するため

- 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- 8. 働きがいも 経済成長も
- 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 12. つくる責任 使う責任
- 13. 気候変動に 具体的な対策を



- ・公益社団法人日本鑄造工学会は 産・学・官の代表者が情報を共有、
5年、10年先を見据えた取り組みを考え、実践する。

★【戦略課題 1】 SDGsに対応する技術革新に繋がる**基礎研究**の推進

★**新たな研究テーマ**（基礎、応用）の発掘

⇒SDGsに呼応する**新たな研究開発**に着手する

＜研究部会活動の**再構築**

★【戦略課題 2】 鑄造に関する**技術伝承**の推進と**若手人材**の育成

★**オールジャパン型** 育成ネットワークの構築 （**オンライン形式**、支部連携）

技術の棚卸（若手へ技術を伝える）

★**若手人材ステップアップ**【“学”&“産”】 を支えるしくみづくり （国内外での若手**活躍の場の提供**）

★【戦略課題 3】 情報発信による学会の**知名度向上**（**素形材の魅力発信**）

★**“モノづくり”**の魅力発信…**若い人**への投げかけ

★**“素形材”**の魅力発信…**お客様（エンドユーザー）**への投げかけ

【戦略課題 4】 他学協会等との連携による**グローバル活動の強化**

★**“世界に貢献する技術者”**の場づくり…**若い研究者**の海外派遣支援

【戦略課題 5】 “モノづくり”を支える学会活動の**活性化**

★**“さらに風通しの良い”**の学会活動（本部&支部）しくみづくり…**活力ある学会活動**の推進



〔本日の進め方〕

- | | | |
|-----------------------------|-------------------------|-----|
| 1. 会長挨拶 | 会長 清水 一道 | 5分 |
| 2. 長期ビジョン ロードマップ策定活動 | 長期ビジョン 委員長 白川 博一 | 15分 |
| 3. 活動テーマ報告 & 意見交換 | | |
| 〔若手人材育成〕 | | |
| ① 鑄造の基礎技術講座 + 「今さら聞けない〇〇学」 | 企画委員長 菅野 利猛 | 5分 |
| ② 学生向け「鑄造技術方案勉強会」 | 企画実行委員 茂泉 健 | 10分 |
| ③ 支部行事 全国展開 & オンデマンド講座 | 人材育成委員長 吉田 誠 | 5分 |
| ————— 質疑応答 15分 ————— | | |
| 〔学会の知名度向上〕 | | |
| ④ 学会ホームページ リニューアル | 広報委員長 野田 善之 | 3分 |
| ⑤ 非会員・学生向け向けコンテンツ発信 | 広報委員長 野田 善之 | 4分 |
| 〔SDGsに繋がる基礎研究〕 | | |
| ⑥ 新たな研究部会設置 「カーボンニュートラル」 | 会長 清水 一道 | 5分 |
| ————— 質疑応答 20分 ————— | | |
| 4. 長期ビジョン ロードマップ正式始動 宣言 | | |

2. 長期ビジョン ロードマップ策定活動 報告

長期ビジョン委員会 白川

第1 STEP：第2期振返り（委員会＆支部活動 棚卸し）

（'19年8月～'20年12月）

- ・委員会活動まとめ（神戸副会長）（'19年8月～'20年3月）
- ・支部活動ヒアリング（'20年8月～10月 支部懇話会）

第2 STEP：戦略課題の検討＆決定

（'20年12月～'21年1月）

- ・第2期ビジョンをベースに委員会＆理事会（'21年1月22日）で協議、決定

第3 STEP：プロジェクト（推進テーマ）の検討＆決定

（'21年2月～'22年3月）

- ・支部総会、企画戦略会議、理事会、ビジョン企画部会で随時協議、決定

テーマ構想 & 試行期間：'21年6月～'22年3月（約8か月間）

第4 STEP：体制構築（委員会、研究部会、支部活動）with 鑄造協会

（'21年6月～3月）

- ・推進体制、活動テーマ＆期間＆予算等の立案（予算確保に向けた連携検討）

第5 STEP：長期ビジョン 正式始動

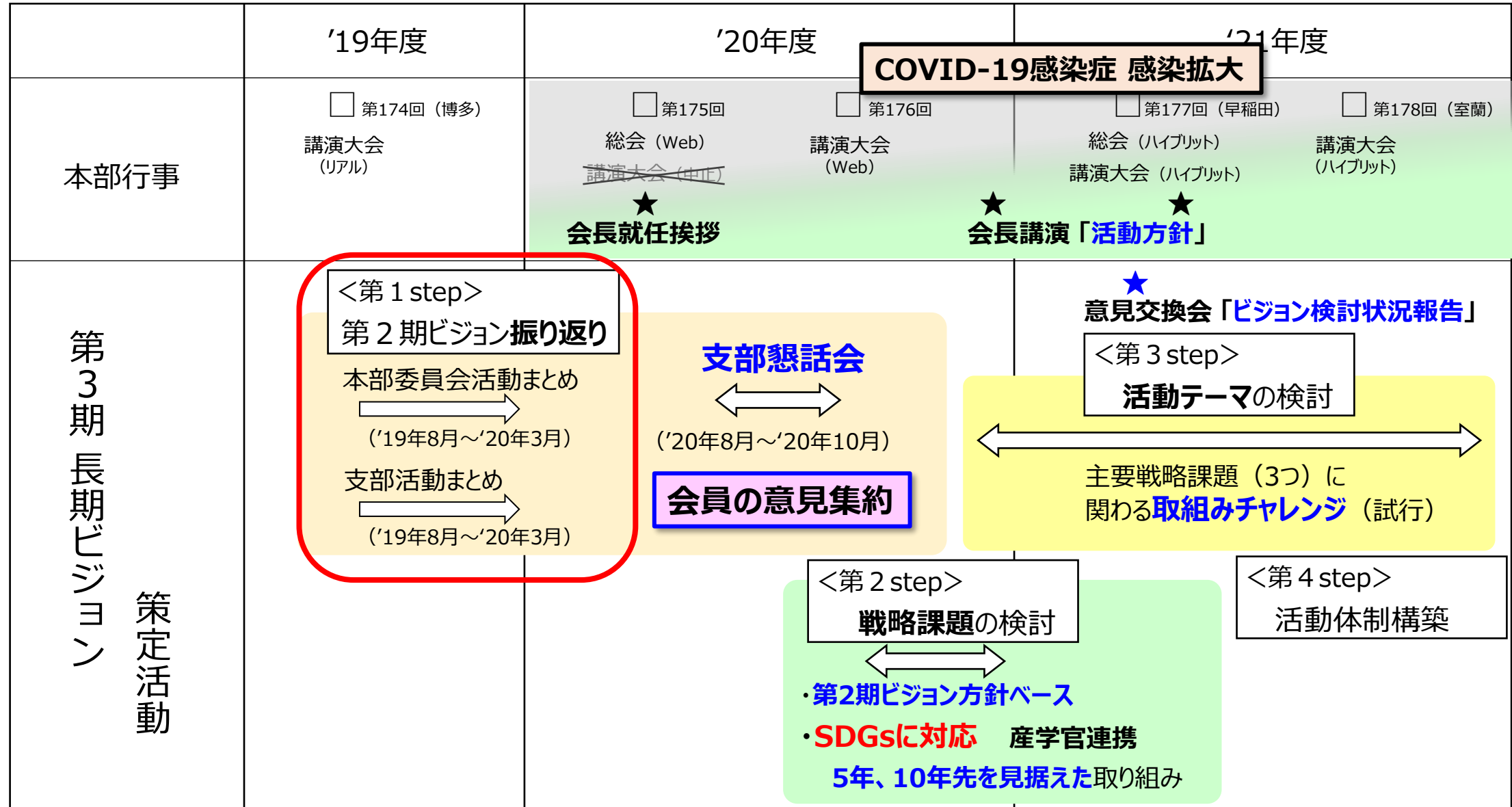
（'22年4月～）

第178回全国講演大会
（'21年5月 早稲田大学）

本日、報告

第3 長期ビジョン 策定ロードマップ ('19年～'21年)

10/49



山内会長の思い

「**鑄物のすばらしさを論理的にまとめ、日本でのものづくりの重要性をしっかりPR、日本の鑄物業界を元気にしよう！**」

長期ビジョン “目指すべき姿” と “活動テーマ”

【活動方針】

「**日本の鑄物業界を元気にする**」

ための＜**取組みを具現化**

【委員構成】

杉本副会長、木口副会長

企画委員会（橋本、白川）、研究委員会（神戸）

人材育成委員会（木口）、編集委員会（西）

行事企画委員会（山浦）、広報委員会（平塚）

Y F E 委員会（清水）、学会事務局（佐藤）

【活動テーマ】 ＜現状把握（課題見える化）、取組み方向性検討＞

活動テーマ 1 日本の鑄物づくりの課題 と **ヒット**（ワクワクする） **商品を創造**する

活動テーマ 2 **日本鑄造工学会の活性化**（会員が増え、喜ばれる環境づくり）

【活動期間】 '12年8月~'14年5月 計17回（1回/月頻度）

懇話会協力会社

全国33社（素形材関連企業）

＜北陸支部＞（3/25）

- ・株式会社 明石合銅（白山市）
- ・石川可鍛製鉄株式会社（かほく市）
- ・KANAMORI SYSTEM Inc.（高岡市）
- ・株式会社 梶鋳工所（かほく市）

＜関西支部＞（5/7）

- ・笠井鋳工株式会社（京都市）
- ・浪速工業株式会社（枚方市）
- ・株式会社 三好製作所（枚方市）
- ・洲崎鋳工株式会社（京都市）
- ・株式会社 南野産業（東大阪市）

＜九州支部＞（4/17）

- ・日之出水道機器株式会社（福岡市）
- ・株式会社 峯陽（諫早市）
- ・株式会社 瀬戸製作所（糟屋郡）
- ・株式会社 鷹取製作所（うきは市）
- ・昭和鉄工株式会社（福岡市）

＜中国/四国支部＞（3/12）

- ・株式会社 今西製作所（広島市）
- ・ヨシワ工業株式会社（安芸郡）
- ・友鉄工業株式会社（広島市）
- ・アサゴエ工業株式会社（岡山市）
- ・株式会社 太田鋳造所（広島市）

＜北海道支部＞（1/30）

- ・株式会社 田中工業（小樽市）
- ・株式会社 光合金製作所（小樽市）
- ・株式会社 木下合金（小樽市）
- ・株式会社 村瀬鉄工所（函館市）
- ・札幌高級鋳物株式会社（札幌市）

＜東北支部＞（10/12）

- ・株式会社 根岸工業所（奥州市）
- ・若手鑄機工業株式会社（奥州市）
- ・株式会社 及精鋳造所（奥州市）

＜東海支部＞（2/8）

- ・株式会社 スギヤマ（富士市）
- ・カネソウ株式会社（桑名市）
- ・株式会社 ヤマキ（西尾市）
- ・株式会社 富田鋳工所（弥富市）
- ・株式会社 マツバラ（関市）
- ・株式会社 ニノミヤ（西尾市）

第2期長期ビジョン活動

'13年10月
全国講演大会（富山）
'14年 5月
全国講演大会（京都）

[振り返り] 第2期長期ビジョン 戦略課題と推進テーマ

(’14年5月～’20年3月) 12/49

(公社) 日本鑄造工学会 基本理念

使命・行動指針

- 使命
私たちは鑄造工学に係わる
学術および技術の振興を図り
日本および世界のものづくり
基盤産業の発展に寄与し、
社会の豊かな生活を実現する。
- 行動指針
 - ・技術革新と人材育成
に努める
 - ・会員相互の研鑽に努める
 - ・産・学・官の連携に努める
 - ・国際社会との競争
と協調に努める

活動基本方針

- 研究開発拠点の
整備・拡充による
研究開発の促進とその普及
- 研究者および技術者
の確保と**育成**
- 他学会等との連携
による学会活動の**強化**
- 会員サービス向上 による
学会活動の更なる充実

第2期長期ビジョン

戦略課題

1. 環境の変化に対応する
技術革新に繋がる基礎研究の推進
2. 鑄造に関する
技術伝承の推進と若手人材の育成
3. 他学協会等との連携による
グローバル活動の強化
4. 学会**会員**に対する**サービス向上**
5. **非会員**に対する**学会知名度向上**

活動指標

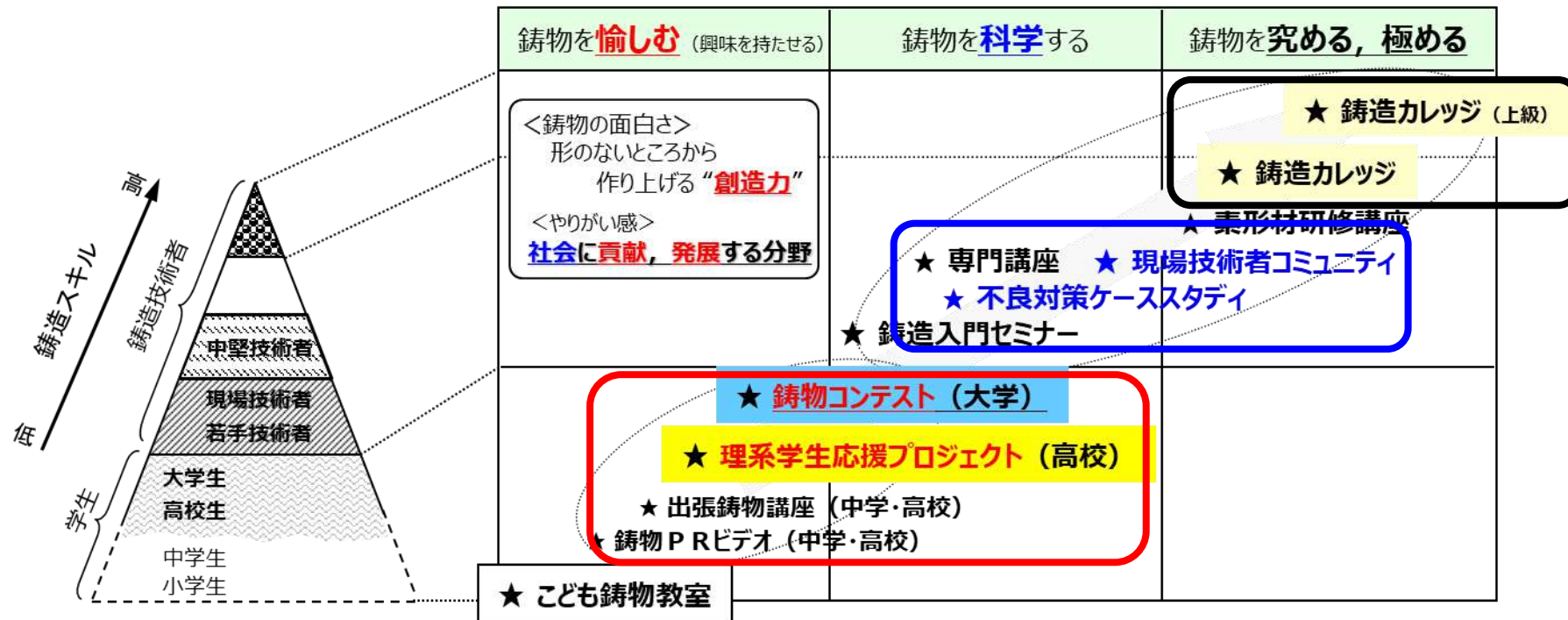
- ・研究部会参加者数
・OS講演回数
・技術ロードマップ見直し
- ・正会員数
・学生会員数
・学生イベント参加者数
- ・大会発表件数(日本)
・MT投稿件数
・海外情報レポート件数
・WFC論文発表件数
- ・会誌掲載記事件数
・講演大会発表件数
・イベント参加者数
・学会HPアクセス数
- ・技術イベント開催件数
・学会HPアクセス数
・イベント参加学生数

推進テーマ・プロジェクト

- 高品質・高付加価値の素材製品を製造するための技術
- 設計・製造プロセスを高度化するための技術
- 社会的要請や制約に対応するための技術
- 定期的なロードマップの見直しと研究テーマの立上げ、情報発信
- 鑄物を究める, 極める**・・・共同研究, 鑄造カレッジ(上級)
- 鑄物を科学する**・・・若手研究, 技術者向け情報、講習会、他
- 鑄物を愉しむ**(大学)・・・大学生育成ネットワーク, 鑄物コンテスト、他
- 鑄物を愉しむ**(高校)・・・理系学生応援プロジェクト、他
- 国際学会への計画的な参加および論文発表の促進
- 海外鑄造技術情報の定期的な調査と会員への提供
- 海外情報(生活、文化、など)の定期的な調査と会員への提供
- WFC2016(第72回世界鑄造会議) 名古屋開催
- 投稿環境の充実による会誌掲載記事の質・量の拡大
- 全国講演大会の充実
- 人材交流(技術・人)支援
- 会員専用情報発信事業の構築
- 鑄造産業を支える“ものづくり力”の発信
- 鑄造関連技術交換の場の提供(含む非会員)
- 鑄物に関心を持つ環境づくり

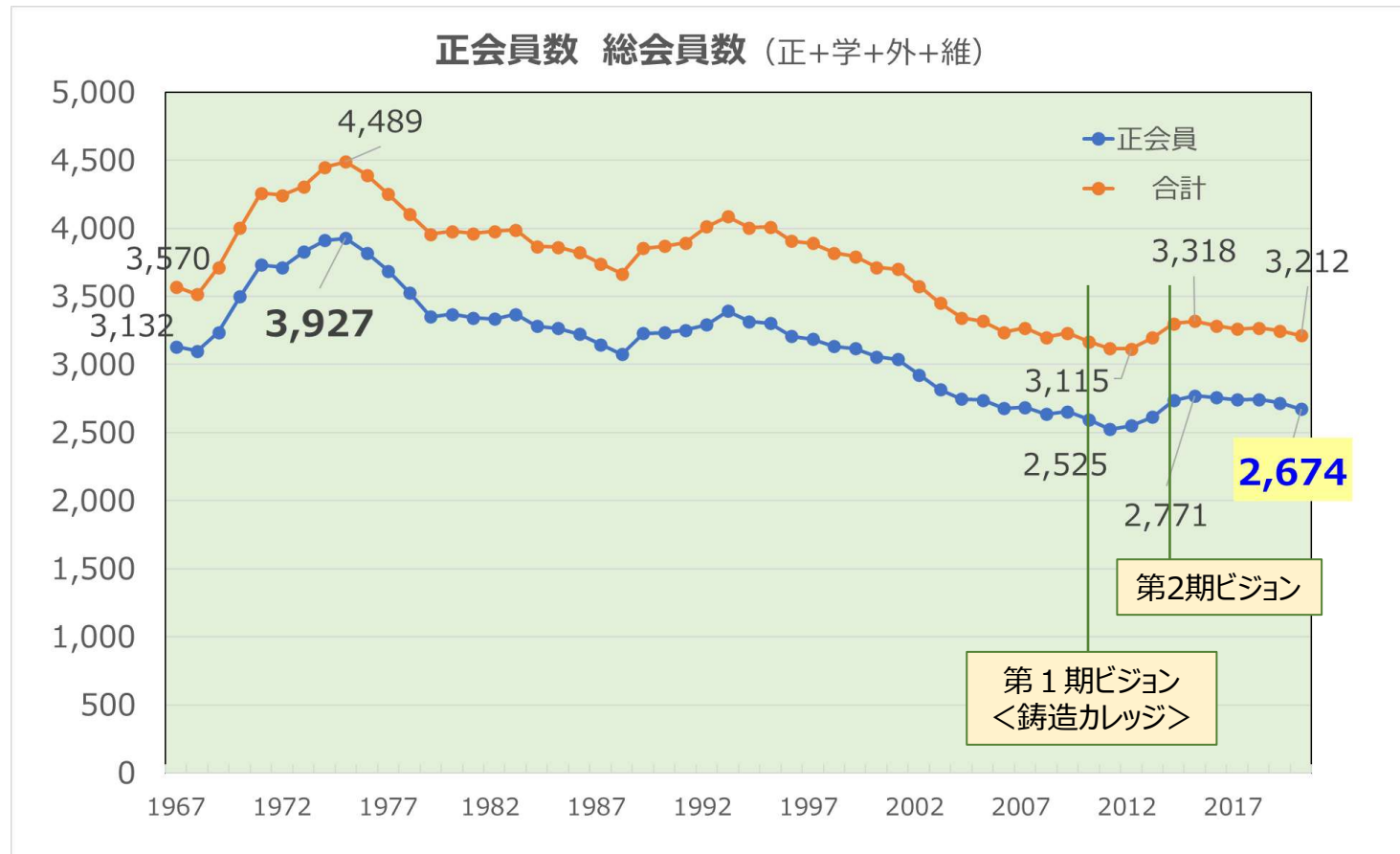
【 鋳造エンジニアの人材育成イメージ図 】

エンジニアの卵（学生）、**鋳造技術者**（新人、中堅、他）、**鋳造技士** に適した育成プログラムの構築



【 第2期長期ビジョンの取組み 】

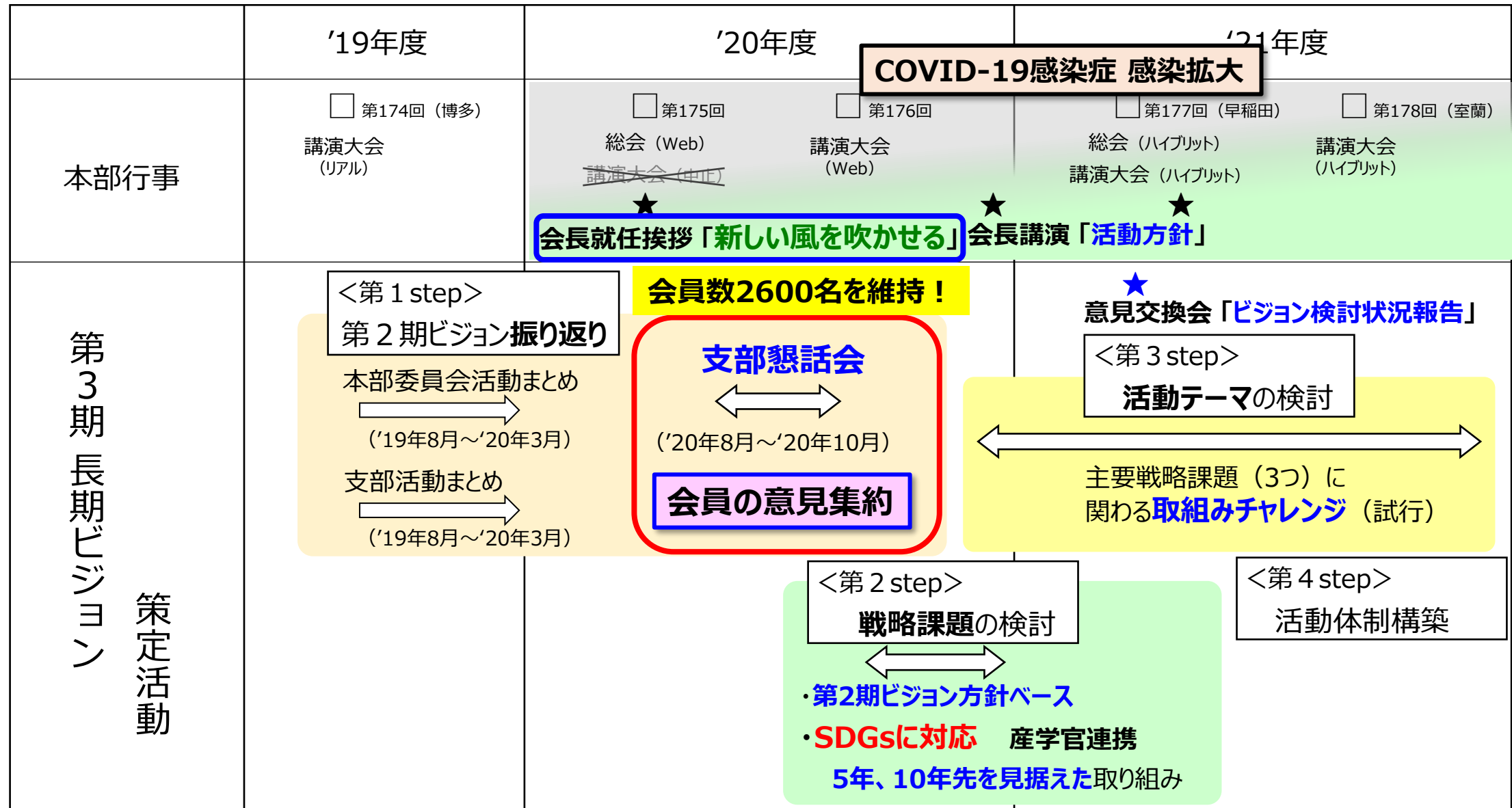
人材育成におけるキーワード（**鋳物を愉しむ**, **科学する**, **究める, 極める**）に応える取組みの具現化



ビジョン活動により会員数減少に歯止め、約2600名で推移

第3 長期ビジョン 策定ロードマップ ('19年～'21年)

15/49



【研究活動】

東海支部との懇話会（一部抜粋）

支部理事、会員のご意見	本部 3 役コメント
[理事 C] 研究部会の<u>技術ロードマップ</u>が見えない。 - 研究部会は重要な役目を担っている。<u>技術ロードマップ</u>に基づく活動を進めることが大切だと思う。また、部会間の連携はできないのでしょうか。 [理事 C] - 鑄造だけでなく、<u>別分野の学会や協会</u>との連携も考えてはどうか。	“学”のニーズは<u>新技術／鑄造研究</u>を進め、論文で発表、認めてもらう必要がある。その技術を本部研究部会で取り上げて活動しているが、会員に伝わっていない。<広報活動>が不足している。 - 研究部会は くきかけ づくりの場、その後は参加企業関係者で契約を結び、事業として取り組む必要がある。 - 研究部会を運営しているのは東海だが、類似の活動は他の支部でもある。全国研究部会（本部、支部）を合同開催するのも面白いと思う。

北海道支部との懇話会（一部抜粋）

支部理事、会員のご意見	本部 3 役コメント
[理事 A] 将来を見据えた<u>基礎研究</u>をどうすべきか。 - 市場の変化が目まぐるしく、コスト競争が厳しくなっている。企業単独でスピード感を持って開発活動を行うのは厳しい。しかし、<u>継続的な研究開発活動</u>なくして、日本の鑄造業界の<u>発展につながらない</u>。これを埋めていただくのが学会の役割ではないか。 - 産学官の壁がない中での情報交換、研究発表の聴講も良いが、聞くだけでなく<u>オールジャパンの集まりで共通課題に取り組む</u>ことが大切。	- 学会としてやれること。<u>研究部会活動</u>でやるしかない。この場に参加して、仲間づくりをして欲しい。全国講演大会の懇親会などで顔を突き合わせて会話ができるメリットを最大限に活かしてほしい。そして、同じ思いの仲間を作ることが大切。 北海道支部で行った鑄造カレッジで工夫されたグループ討議のやり方を参考に研究部会のテーマに同じ考えを持つメンバーを“この指とまれ方式”で集めてメンバー間で話し合う（共有）などやってみてはどうか

課題認識

同じ思いを持つ仲間が集まり

将来を見据えた基礎研究を行う必要がある

【若手人材育成】

関東支部との懇話会（一部抜粋）

支部理事、会員のご意見	本部 3 役コメント
[理事 B] 若い技術者の育成、「<u>襷を渡す</u>」という認識はなかった。 ・今振り返ると、自分の上司が自分を学会に引きずり出してくれたおかげで、今、皆さんと一緒に活動（人の繋がり）させてもらっている。 ・我々が若い人の意見に耳を傾け、同時に自分の思いを伝え、このような場所に出していくことが重要と今改めて感じた。	・なぜオールジャパンでやるのか。それは20～30年後をイメージした際に鑄造を牽引する人材がかなり減っていると思う。そのような状況になっても自立できるように、上手に <次の世代に襷を渡す> を考えねばならない。 ・今回の学会体制も若手を登用した。このように襷を渡して、失敗しても良いので後継者を育てるしかない。特に“学”の先生の育成は急務。

北海道支部との懇話会（一部抜粋）

支部理事、会員のご意見	本部 3 役コメント
[理事 A] 若手人材（<u>支部を支える方々</u>）の世代交代タイミングを迎えている。 ・北海道の鑄造分野の限られた技術者／研究者の人材確保やレベルアップのために、現活動を引き継ぐ体制づくりが必要。 ・北海道支部はこじんまりとしているが、産学官がスクラム組んで活動運営を行ってきた伝統のある組織だと思う。 また、フロンティア精神があり、「やってみよう！」という方が多い。 ・ただし、気になる点は <学の繋がり> が大きく抜けていること。 全国的にも同じ傾向にあり、学のステップアップを担う人材確保&育成が厳しい状況にある。	・北海道支部はこじんまりかもしれないが、中身は団結力が強いと感じる。 ・今年は新型コロナウイルスの感染防止の観点から、リモート形式での事業開催を行わざる終えない状況になったが、このツールの利点もわかってきた。関係者の金銭面や時間拘束という障害がなくなった。これを利用して オールジャパン（全支部）で共通課題を解決 したい。 ・本部長期ビジョンでは 全国ネットワーク（オールジャパン） で他支部と情報を共有、一緒に活動することを検討していきたい。

課題認識

若手人材の育成がうまくいっていない

このままでは“モノづくり”技術・技能の繋がりが切れてしまう。

九州支部との懇話会（一部抜粋）

【若手人材育成】

支部理事、会員のご意見	本部 3 役コメント
[理事 B] 特殊領域の情報が殆ど見かけなくなった ・本部や支部外の講習会/研究会などへ行かせたいが、環境が難しい。 (時間的負担、費用負担) ・支部に特殊分野 (ex. 特殊鋼、砂など) の講師不在。	・特殊分野に関しては全国的に見ても少なくなっており、支部単独では難しい。 本部もサポート (企画、運営) を考える。 ・リモートツールを活用したオールジャパン型 (支部連携) セミナーを オンライン形式で開催することを考える。 例えば、終業後のイブニングセミナーなど参加しやすいものを考えたい。

北陸支部との懇話会（一部抜粋）

支部理事、会員のご意見	本部 3 役コメント
[理事 B] 若手技術者の育成がままならない。 ・若手技術者には学会全国イベント (全国講演大会) の技術レベルが難しい という上司 (経営者) の思い込みがあり、育成方針を立てていなかった。 ・銅合金という特殊材質に特化した講習会、支部だけでは開催できない。 全国レベルでやって頂けるようお願いしたい。 ・育成のために講習会等に行かせたいが、丸一日抜けるのは辛い。 さらに講師の負担 (時間、体調面) も大きい。	・特殊材質 (銅合金、耐摩耗材料など) に関しては全国的に見ても少数派。 全国規模 (講座、講習会等) で効率よくやることを考えたい。 ・オンラインツールを活用したリモート形式を上手く使えば、講師&受講者の負担を大幅に軽減できる。今までとは違う活動スタイルができると期待。

課題認識

若手技術者の育成がままならない。(支部単独では運営できない)

⇒ **オールジャパン型 (支部連携) 教育体制のニーズが高い**

中国・四国支部との懇話会（一部抜粋）

【“モノづくり”の魅力発信】

支部理事、会員のご意見	本部 3 役コメント
[理事 A] 若手メンバーへのPR活動が不足している。 ・会社に鑄造を志して入社してくる社員は殆どいない。 ・学校に会社案内で伺い、簡単な映像（鑄込み）を使って説明、ようやく学生に認知してもらえるようになった。	・実体験（砂型実習、生産技術実習）をすると鑄造に喰いついてくる学生もいる。 ・企業からの積極的な声掛けも必要。企業人による特別講座（モノづくりとはこんな感じ、商品と鑄物のつながり）を学生に対して開催することも重要

関西支部との懇話会（一部抜粋）

支部理事、会員のご意見	本部 3 役コメント
[理事 B] 鑄造業界全体で“モノづくり”人材を育成しよう！ ・学生（高校生／大学生）への企業アピールの場が少ない。企業規模が小さい会社は面着機会さえ、作ることができない。 ・インターシップの取組みは大手企業のみ。（会社紹介 2 ～ 3 日程度）中小企業ではやっているとはあまり聞かない。	・素形材に関わる人材を継続的に確保するためには、企業側は待つだけでなく積極的に学生が体験できる場を提供する取組みが必要。 ・普通科高校生や中学生を対象に、まずは体験（鑄物砂を使って鑄型を作り、注湯する）させることが大切！特定の大学／先生だけでなく、鑄造業界全体で人材を育成すること。

東北支部との懇話会（一部抜粋）

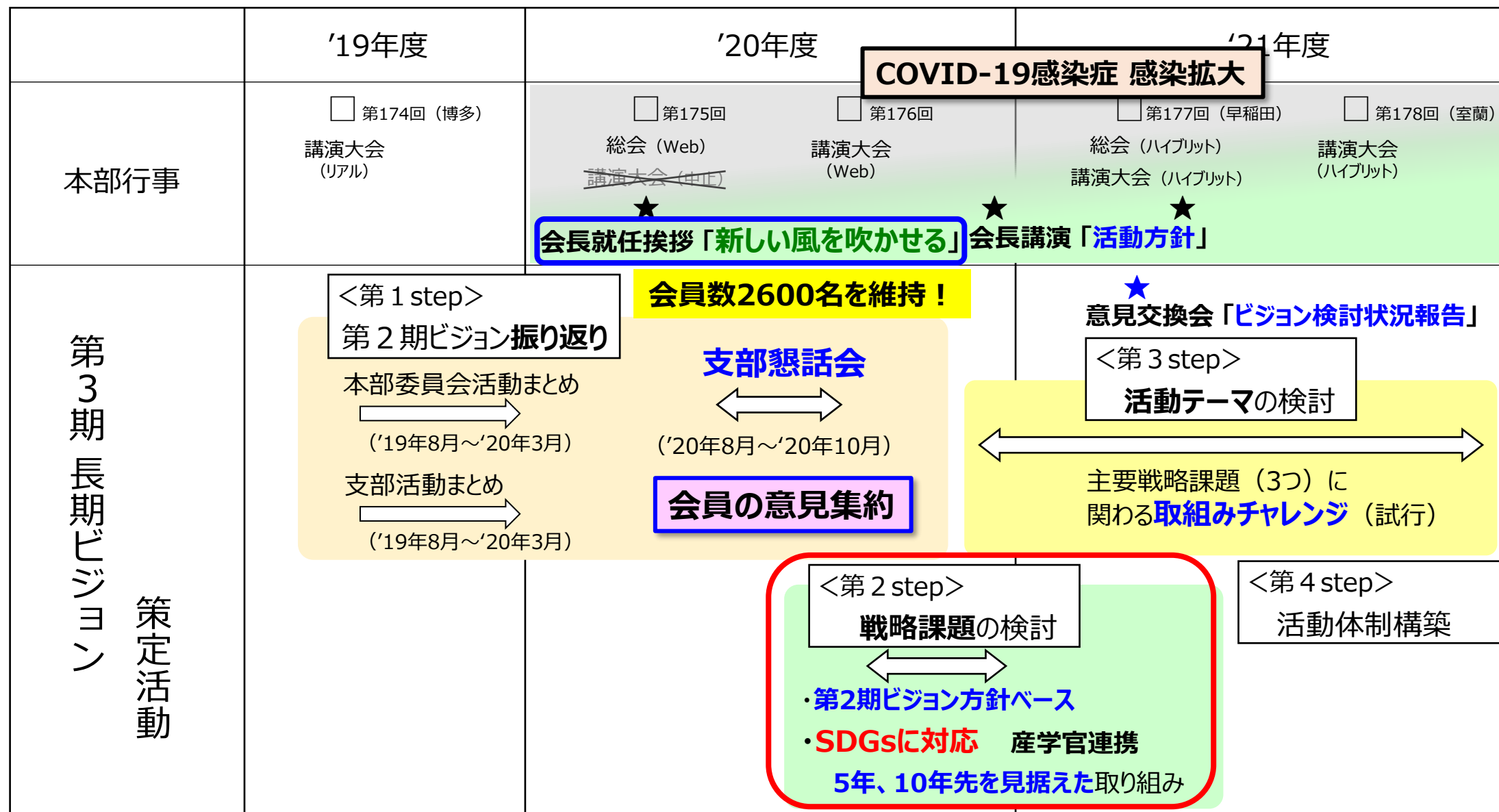
支部理事、会員のご意見	本部 3 役コメント
[理事 B] お客様（発注者）が鑄物のことを知らない。 ・発注者が鑄物ことを知らないことで、結果的に原価や品質に跳ね返る。それでも素材メーカーに依存するのが現状。 ⇒但し、発注図面からの変更には限りがあり、完全な対応が取れない。	・ものが出来てから不具合が分かってもお客様に迷惑をかける。受注した素材を実際に作る前に、CAEなどを使ってバーチャル（データ）で発注者に見せることが重要。 ・お客様（自動車技術会）との学会のコラボ事業を考えるのも良い。

課題認識

若いひと（学生）・お客様が鑄物すばらしさを知らない

第3長期ビジョン 策定ロードマップ（'19年～'21年）

20/49



【第3期ビジョンで取り組むべきこと】

・2030年までに達成すべき

国際社会共通の目標【SDGs】を達成するため

- 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- 8. 働きがいも 経済成長も
- 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 12. つくる責任 使う責任
- 13. 気候変動に 具体的な対策を



・公益社団法人日本鑄造工学会は 産・学・官の代表者が情報を共有、

5年、10年先を見据えた取り組みを考え、実践する。

その企画戦略を行う ビジョン企画部会（支部参加） を設けて活動する。

※取り巻く環境に追従するため、ビジョン企画部会を定期的（例えば2年ごと）に立上げ、取組み見直しを行う。

★【戦略課題 1】 SDGsに対応する技術革新に繋がる**基礎研究**の推進

★**新たな研究テーマ**（基礎、応用）の発掘

⇒SDGsに呼応する**新たな研究開発**に着手する

＜研究部会活動の**再構築**

★【戦略課題 2】 鋳造に関する**技術伝承**の推進と**若手人材**の育成

★**オールジャパン型** 育成ネットワークの構築 （オンライン形式、支部連携）

技術の棚卸（若手へ技術を伝える）

★**若手人材ステップアップ**【“学”&“産”】 を支えるしくみづくり （国内外での若手**活躍の場の提供**）

★【戦略課題 3】 情報発信による学会の**知名度向上**（**素形材の魅力発信**）

★**“モノづくり”**の魅力発信…**若い人**への投げかけ

★**“素形材”**の魅力発信…**お客様（エンドユーザー）**への投げかけ

【戦略課題 4】 他学協会等との連携による**グローバル活動の強化**

★**“世界に貢献する技術者”**の場づくり…**若い研究者**の海外派遣支援

【戦略課題 5】 “モノづくり”を支える学会活動の**活性化**

★**“さらに風通しの良い”**の学会活動（本部&支部）しくみづくり…**活力ある学会活動**の推進

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【戦略課題立案】

第2期長期ビジョン 活動方針をベースに

会長宣言 **「新しい風を吹かせる」**

を織り込んだ戦略課題とする。

第3長期ビジョン 策定ロードマップ

第1 STEP：第2期振返り（委員会＆支部活動 棚卸し）（'19年8月～'20年12月）

- ・委員会活動まとめ（神戸副会長）（'19年8月～'20年3月）
- ・支部活動ヒアリング（'20年8月～10月 支部懇話会）

第2 STEP：戦略課題の検討＆決定（'20年12月～'21年1月）

- ・第2期ビジョンをベースに委員会＆理事会（'21年1月22日）で協議、決定

第3 STEP：プロジェクト（推進テーマ）の検討＆決定（'21年2月～'22年3月）

- ・支部総会、企画戦略会議、理事会、ビジョン企画部会で随時協議、決定

テーマ構想 & 試行期間：'21年6月～'22年3月（約8か月間）

第4 STEP：体制構築（委員会、研究部会、支部活動）with 鑄造協会（'21年6月～3月）

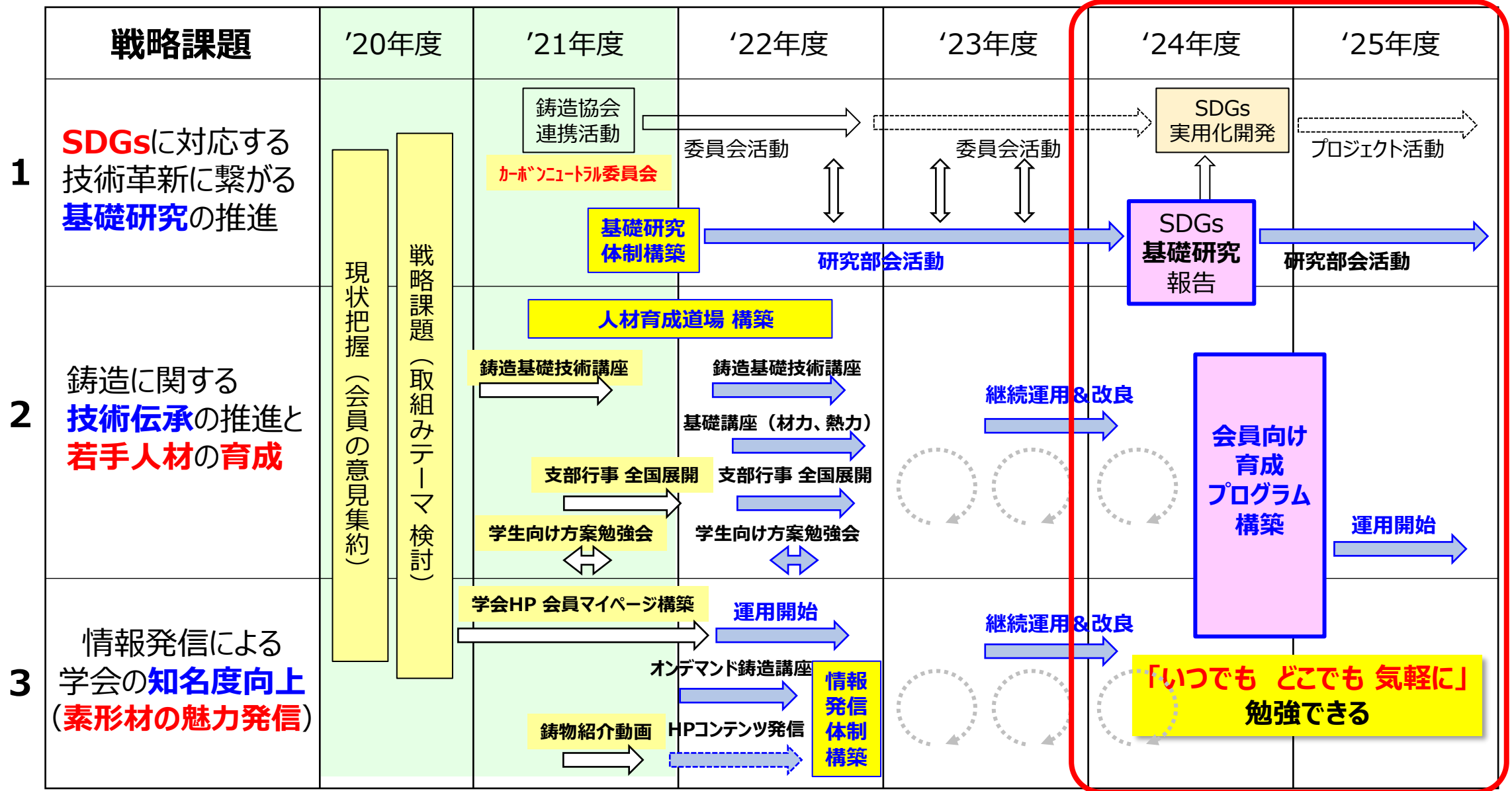
- ・推進体制、活動テーマ＆期間＆予算等の立案（予算確保に向けた連携検討）

第5 STEP：長期ビジョン 正式始動（'22年4月～）

第178回全国講演大会
（'21年5月 早稲田大学）

本日、報告

第3長期ビジョン ロードマップ(戦略課題)



	'19年度	'20年度		'21年度	
本部行事	□ 第174回（博多） 講演大会（リアル）	□ 第175回 総会（Web） 講演大会（中止）	□ 第176回 講演大会（Web）	□ 第177回（早稲田） 総会（ハイブリット） 講演大会（ハイブリット）	□ 第178回（室蘭） 講演大会（ハイブリット）
		COVID-19感染症 感染拡大 ★ 会長就任挨拶「新しい風を吹かせる」 ★ 会長講演「活動方針」			
第3期長期ビジョン 策定活動	<第1 step> 第2期ビジョン振り返り 本部委員会活動まとめ → （'19年8月～'20年3月） 支部活動まとめ → （'19年8月～'20年3月）	会員数2600名を維持！ 支部懇話会 ↔ （'20年8月～'20年10月） 会員の意見集約		★ 意見交換会「ビジョン検討状況報告」 <第3 step> 活動テーマの検討 ↔ 主要戦略課題（3つ）に 関わる取組みチャレンジ（試行）	
		<第2 step> 戦略課題の検討 ↔ ・第2期ビジョン方針ベース ・SDGsに対応 産学官連携 5年、10年先を見据えた取り組み		<第4 step> 活動体制構築	

【戦略課題 1】 SDGsに対応する技術革新に繋がる基礎研究の推進

達成イメージ			活動指標				
- 産学官連携によるサポート体制が構築され、鑄造技術革新が進んでいる - 研究活動が活発に行われ、その成果を学会内外に定期的に報告している							
プロジェクト (推進テーマ)	実施事項	担当 委員会	'21年度	'22年度	'23年度	'24年度	'25年度
SDGsに対応する 鑄造技術革新を 実現する 産学官協業体制 づくり	5年、10年先を見据えた ニーズ/シーズ（基礎研究～量産技術） 実現に向けた研究体制 再構築 ※大学ネットワークを活用 ★若い人への榨渡しの場づくり	会長 副会長 研究 ビジョン 企画	SDGs 検討部会活動 新規取組み検討 しくみ検討	新体制構築&運用 評価：○	検討部会活動 (軌道修正有無 確認)	運用	検討部会活動 (軌道修正有無 確認)
研究部会の活性化 ★PDCAをまわす	技術ロードマップの推進 ①環境変化に応じた戦略見直し ②研究レビューの確実な発行 最先端技術の紹介	研究	講演大会発表 理事会報告 C	講演大会発表 理事会報告 P D C	講演大会発表 理事会報告 A	講演大会発表 理事会報告	講演大会発表 理事会報告
研究活動の 連携強化 (本部 & 支部連携)	本部／支部行事の情報共有 (情報交換の場) ①本部研究部会 活動情報 ②支部研究事業 活動情報 (研究会、研究部会)	企画	情報共有会 (主催) 本部(関東)、関西、東海 1件/年・支部	振返り 情報共有会 (主催) 本部(関東)、関西、東海 1件/年・支部	標準化 年間スケジュール立案 (本部 & 支部合同企画)	以降、3件/年開催を目標に活動定着化を目指す (他支部も企画参加)	
論文投稿 環境整備	論文付加価値向上 ①Scopus申請、登録 ②Journal of Materials Processing Technology への再録の検討	編集	Scopus 申請中 登録 対応検討	申請 評価：△(2年後再申請)			

【戦略課題2】 鑄造に関する技術伝承の推進と若手人材の育成

達成イメージ			活動指標				
- モノづくりに携わる鑄造技術者の学びの場が全国規模で展開されている - 次世代を担う“学・官”&“産”の若手人材が計画的に育成できている			正会員 2600名維持				
プロジェクト (推進テーマ)	実施事項	担当 委員会	'21年度	'22年度	'23年度	'24年度	'25年度
オールジャパン型 技術伝承 ★俯瞰人材の育成 ★若い人への裾渡り	オールジャパン型 技術セミナーの推進 ① 全国オンライン講座 (本部+支部連携) (講習会、講演会、講座、他)	ビジョン 企画	技術セミナー (主催) (学の若手人材) 本部 (関東)、東海 1件/年・支部 無料 鑄造基礎講座 開催 ('20年度限定)	<他協会との連携> 鑄造カレッジ、研究講座 振返り	振返り 標準化 年間スケジュール立案 (本部&支部合同企画)	以降、1件/年開催を目標に活動定着化を目指す (他支部も企画参加)	
	② 社会人向け 基礎講座 いまだ聞けない 基礎技術の 学習機会づくり	企画 編集	(機械屋向け、材料屋 講座講師応募 (学の若手人材)	進捗：○ 内容検討 受講者応募	基礎講座 振返り	以降、1回/年開催を目標に 活動定着化を目指す	
	「いつでも、どこでも」勉強できる オンデマンド講座の推進	編集 広報	初級講座 映像準備 トライアル 振返り [コマ仕様] 2分、5分、20分	進捗：○ 「基礎から学ぶ 鑄造工学」 を 正式運用 (ホームページ)	以降、受講希望者 (学生&技術者) 要望を伺い 新たなコンテンツを企画する		
若手人材の育成 ★伝承すべき 技術の棚卸 ★若い人への裾渡り 若手活躍の場 (新体制で試行)	“学”のステップアップ <若い世代に裾を渡す> ① 若手人材の 育成の場 確保	ビジョン 企画	学会事業 派遣 振返り	進捗：△ 派遣 振返り	学会事業 派遣 振返り	学会事業 派遣 振返り	学会事業 派遣 振返り
	“産”のステップアップ <若い世代に裾を渡す> ① 中小企業 (技術者向け) ビジネスプラン (ネットワーク) づくり ② 人材育成支援バンク (よろず相談対応)	人材 育成 YFE	しくみ構築 (with 鑄造技士会) 実践型研修会 振返り 進捗：× 講座講師応募 (高技能/高技能 保有者)	実践型研修会 振返り 講座講師応募 (随時)	実践型研修会 振返り (主催) 本部 (関東)、関西、東海 1件/年 講座講師応募 (随時)	実践型研修会 振返り (主催) 本部 (関東)、関西、東海 1件/年 講座講師応募 (随時)	実践型研修会 振返り (主催) 本部 (関東)、関西、東海 1件/年 講座講師応募 (随時)

【戦略課題3】 情報発信による学会の知名度向上（素形材の魅力発信）

達成イメージ			活動指標				
・素形材（鑄造）が社会生活に用いられ、人々が豊かさを感じることができている ・素形材（鑄造）の大切さが認知され、ものづくりに関心が注がれている			正会員 2600名維持				
プロジェクト (推進テーマ)	実施事項	担当 委員会	'21年度	'22年度	'23年度	'24年度	'25年度
本部広報活動 の強化	本部ホームページの充実 ①学会知的財産の公開	広報	鑄造工学便覧の公開 鑄造初心者～鑄造工学を結びつけるHPアイテムの検討と実施	進捗：×			
	②受益者目線に立った 学会情報のタイムリーな発信 (編集委員会、研究委員会、 YFE委員会、人材育成委員会 企画委員会、他)	各 委員会	運用ルール決め 情報掲載 ★委員会報告 (年間計画、活動報告、他)	進捗：○ ▼年間計画 総括▼ 活動報告(随時)	▼年間計画 総括▼ 活動報告(随時)	▼年間計画 総括▼ 活動報告(随時)	▼年間計画 総括▼ 活動報告(随時)
“モノづくり” の魅力発信 ＜学びの場 提供＞ プロジェクトチーム設置 ★若い人への きっかけづくり	“モノづくり”体験学習環境づくり ①学生向け特別講座 企業人 (高校生→大学生) ・商品と鑄物のつながり	会長 副会長	運用ルール決め(全体統括) 企画・構想	進捗：○ 企画・構想 振返り (関東/関西/東海)			
	②紹介動画の発信 2分間 「鑄造がわかる、カッコいい動画」	ビジョン 企画 広報	講演大会 紹介 構想 制作	進捗：○ 新コンテンツ 追加	以降、学生に興味を持たせる 新しい媒体に併せてコンテンツを追加制作＆発信		
	③鑄造実体験広場 普通科学生向け ・学生体験プロジェクト	人材 育成	企画・構想	進捗：○ 体験広場(試行) 振返り (東海) 体験キットづくり (オールジャパン型)	体験広場(試行) 振返り		
“素形材” の魅力発信	鑄物の付加価値アピール ・鑄物の特徴を活かした商品づくり 軽量化、低コスト化に寄与	人材 育成	製品設計者のための鑄造入門 (シンポジウム HPアイテム)	進捗：×			

[本日の進め方]

1. 会長挨拶 会長 清水 一道 5分

2. 長期ビジョン ロードマップ策定活動 報告 長期ビジョン委員長 白川 博一 15分

3. 活動テーマ報告 & 意見交換

[若手人材育成]

① 鑄造の基礎技術講座 + 「今さら聞けない〇〇学」 企画委員長 菅野 利猛 5分

② 学生向け「鑄造技術方案勉強会」 企画実行委員 茂泉 健 10分

③ 支部行事 全国展開 & オンデマンド講座 人材育成委員長 吉田 誠 5分

質疑応答 15分

[学会の知名度向上]

④ 学会ホームページ リニューアル 広報委員長 野田 善之 3分

⑤ 非会員・学生向け向けコンテンツ発信 広報委員長 野田 善之 4分

[SDGsに繋がる基礎研究]

⑥ 新たな研究部会設置 「カーボンニュートラル」 会長 清水 一道 5分

質疑応答 20分

4. 長期ビジョン ロードマップ正式始動 宣言

3. 活動テーマ報告 & 意見交換

[若手人材育成]

① 鑄造の基礎技術講座 + 「今さら聞けない〇〇学」

担当 企画委員会 菅野理事

鋳造の基礎技術講座

31/49

戦略課題 2

'20・'21年度 取組みテーマ 活動報告

報告時間目安：2分

鋳造に関する
技術伝承の推進
と
若手人材の育成

オールジャパン型 技術セミナーの開催

「鋳造の基礎技術講座」

「分野別 技術紹介」

(1回/月 '21年2月～7月)

		講師（理事）	聴講者
第1回 (2/20)	鑄鉄	清水会長、平塚 今西、菅野	255名
第2回 (3/13)	アルミ	神戸副会長、西 熊井、才川	174名
第3回 (4/17)	特殊	松木、田村、 浅野、野田	174名
第4回 (5/15)	鑄鋼・高Cr	佐藤、山口、 山本、横溝	175名
第5回 (6/19)	鑄鉄・鑄型	清水会長、黒川 前田、杉山	196名
第6回 (7/17)	アルミ・銅	舟木、村田 吉田、岡根	158名

開催トピックス

- ① コロナ禍で面着講習が受けられない会員への
期間限定サービス（**無料Web講座**）として、
本部理事の持ち回りによる「鋳造の基礎講座」
を新たに企画、開催。
- ② 各分野への知見が深い理事に講師を依頼、
充実した内容に多くの方が受講いただいた。
- ③ 会員へのサービスとして
今後も継続を期待する意見が多く寄せられた。

総括（まとめ）

Web形式「鋳造の基礎技術講座」は**大盛況**。

鑄造の基礎技術講座 + 「今さら聞けない○○学」

32/49

戦略課題 2	'22年度 取組みテーマ (案)	報告時間目安：3分
鑄造に関する 技術伝承の推進 と 若手人材の育成	オールジャパン型 技術セミナーの開催 「鑄造の基礎技術講座 ②-1」(案) オンライン形式 「研究部会 最新動向」(部会長報告) [第1回] ・「2022,2023年度 学会運営方針」 会長 ・「鑄鉄鑄物 最新動向」 鑄鉄研究部会長 白木尚人 ・「鑄鉄CAE 最新動向」 鑄造CAE研究部会長 三中西信治 [第2回] ・「銅合金鑄物 最新動向」 銅合金研究部会長 丸山 徹 ・「軽合金鑄物 最新動向」 軽合金研究部会長 茂泉 健 ・「ダイカスト 最新動向」 ダイカスト研究部会長 西 直美 [第3回] ・「生型 最新動向」 生型研究部会長 前田安郭 ・「特殊鑄型 最新動向」 特殊鑄型研究部会長 永井康弘 ・「精密鑄造 最新動向」 精密鑄造研究部会長 登 勇気 [第4回] ・「鑄造品評価技術 最新動向」 鑄造品評価技術研究部会長 長谷川智則 ・「鑄造設備 最新動向」 鑄造設備研究部会長 坪田博隆 ・「鑄造IoT 最新動向」 IoT研究部会長 菅野利猛 研究部会長に講師を依頼、Web講座継続開催 21年度：各研究部会は計画通りに部会活動実施済	オールジャパン型 技術セミナーの開催 「鑄造の基礎技術講座 ②-2」(案) オンライン形式 '22年度 新企画 今さら聞けない「○○学」 (材料力学、熱力学、伝熱工学、他) ★“モノづくり”に携わる技術者向けに “モノづくり”に必要な知識を 今一度、勉強する場を提供する企画。 ★大学・高専に在籍されている 若手・中堅研究者に 分かり易く解説いただく。

3. 活動テーマ報告 & 意見交換

[若手人材育成]

② 学生向け「鑄造技術方案勉強会」

担当 企画委員会 茂泉委員

学生向け「鋳造技術方案勉強会」

34/49

戦略課題 2	'20・'21年度 取組みテーマ 活動報告 報告時間目安：3分
鋳造に関する 技術伝承 の推進 と 若手人材 の育成	学生向け「鋳造技術方案勉強会」 (本部 & 関東支部) 2020年度(トライアル開催) 企画主旨 若手技術者のニーズとして、 ・ 鋳造に関する基礎的な勉強をしたい ・ 同様な悩みを持つ仲間を作って、問題解決のヒントを得たい／何か新しいことをやってみたい という意見がある。一方で、多くの鋳造関連企業ではそれほど多くの若手がいる状況ではなく、何か新しいことをしたいが一人ではアイデアも乏しく、実行につながっていないという現状がある。やるかやらないかは個人のやる気と実行力の問題でもあるが、学会がサポートできることとして、若手技術者同士の横のつながりを作り、上記ニーズを実現するきっかけとなるイベントを企画する。鋳造工学会に入会することで参加できる魅力あるイベントの一つとしたい。 また、鋳造関連の研究室で学ぶ学生らが将来鋳造関連の企業に入社した後も同じ悩みやニーズを持つことになると思う。学生との連動イベントとすることで、鋳造工学会が学会発表や論文の場だけでなく、仲間の輪を広げることのできる場であることの魅力を知ってもらい、入社後も個人会員として継続したいと思えるようなイベントとしたい。 2021年度 企画主旨 ものづくりの基盤技術である「鋳造」は、最も歴史ある製造技術の一つでありながら、現代の鋳造技術はデジタル技術の進歩に伴って大きな進化を遂げている。3D-CADによる鋳物形状設計、CAEによる品質予測、X線CTによる内部可視化など、これらのデジタル技術は一部の先進的な企業だけのものではなく、多くの鋳造現場で当たり前使用されている。これからこの分野の技術者を目指す若手が興味を持つための気づきの機会として、基礎的な鋳造工学＋デジタル技術の学習体験ができる場を提供する。

学生向け「鋳造技術方案勉強会」

35/49

戦略課題 2

‘21年度 取組みテーマ 活動報告

報告時間目安：3分

鋳造に関する
技術伝承の推進
と
若手人材の育成

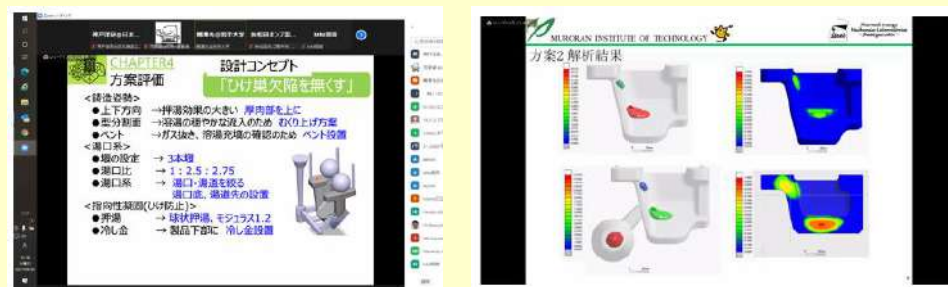
学生向け「鋳造技術方案勉強会」 (本部 & 関東支部)

3Dモデリング & CAE解析
(’21.8.2~’21.9.30)
AnyCasting協力

参加校：10大学 (11研究室)

室蘭工大、岩手大、秋田大、群馬大、
早稲田大、東京都市大、豊橋技科大
大同大学、近畿大、大阪教育大

開催状況



開催トピックス



総括 (まとめ)

技術者としての**面白さ**を発見

学生向け「鋳造技術方案勉強会」 + 実鋳込み

36/49

戦略課題 2	'22年度 取組みテーマ（案）	報告時間目安：4分																				
鋳造に関する 技術伝承の推進 と 若手人材の育成	学生向け「鋳造技術方案勉強会」 3Dモデリング & CAE解析 協力：AnyCasting																					
	座学 <table><tr><td>1日目</td><td>2日目(任意)</td><td rowspan="2">実践 (約1か月間)</td><td rowspan="2">発表会</td></tr><tr><td> ・ 鋳造の基礎 ・ 方案とは 鋳造品質 作業性 コスト 設計の ポイント など </td><td> 鋳造方案設計 ソフト (AnyDesgin) の使い方教育 </td><td> 鋳造解析 ソフト (AnyCasting) の使い方教育 </td><td> ・ 参加チーム による独自の 方案設計を 実施 ・ 設計の狙い、 出来栄え(自 己評価)をプ レゼ資料にま とめ </td><td> ・ 参加チーム プレゼン ・ 講評 ・ プロの先輩 による設計 事例紹介 </td></tr><tr><td></td><td>課題発表</td><td></td><td>審査</td></tr><tr><td>継承可能な体系的 教育資料の一部 としてライブラリ 化</td><td>解析の実施は 任意、研究室 で保有している ソフトも利用可</td><td>課題形状検討会 (企画委員会)</td><td>講評 & 審査員 評価により 最優秀チーム 審査選考</td></tr><tr><td></td><td colspan="2"> 実鋳造 最優秀チーム の作品を 実鋳造(立会) 製品検査 全国講演大会 (春季) 表彰 鋳造&評価 協力企業検討 (+ 費用調整) </td></tr></table>		1日目	2日目(任意)	実践 (約1か月間)	発表会	・ 鋳造の基礎 ・ 方案とは 鋳造品質 作業性 コスト 設計の ポイント など	鋳造方案設計 ソフト (AnyDesgin) の使い方教育	鋳造解析 ソフト (AnyCasting) の使い方教育	・ 参加チーム による独自の 方案設計を 実施 ・ 設計の狙い、 出来栄え(自 己評価)をプ レゼ資料にま とめ	・ 参加チーム プレゼン ・ 講評 ・ プロの先輩 による設計 事例紹介		課題発表		審査	継承可能な体系的 教育資料の一部 としてライブラリ 化	解析の実施は 任意、研究室 で保有している ソフトも利用可	課題形状検討会 (企画委員会)	講評 & 審査員 評価により 最優秀チーム 審査選考		実鋳造 最優秀チーム の作品を 実鋳造(立会) 製品検査 全国講演大会 (春季) 表彰 鋳造&評価 協力企業検討 (+ 費用調整)	
	1日目	2日目(任意)	実践 (約1か月間)	発表会																		
	・ 鋳造の基礎 ・ 方案とは 鋳造品質 作業性 コスト 設計の ポイント など	鋳造方案設計 ソフト (AnyDesgin) の使い方教育			鋳造解析 ソフト (AnyCasting) の使い方教育	・ 参加チーム による独自の 方案設計を 実施 ・ 設計の狙い、 出来栄え(自 己評価)をプ レゼ資料にま とめ	・ 参加チーム プレゼン ・ 講評 ・ プロの先輩 による設計 事例紹介															
	課題発表		審査																			
継承可能な体系的 教育資料の一部 としてライブラリ 化	解析の実施は 任意、研究室 で保有している ソフトも利用可	課題形状検討会 (企画委員会)	講評 & 審査員 評価により 最優秀チーム 審査選考																			
	実鋳造 最優秀チーム の作品を 実鋳造(立会) 製品検査 全国講演大会 (春季) 表彰 鋳造&評価 協力企業検討 (+ 費用調整)																					

3. 活動テーマ報告 & 意見交換

[若手人材育成]

③ 支部行事 全国展開 & オンデマンド講座

担当 人材育成委員会 吉田理事

支部行事 全国展開

38/49

戦略課題 2

'21年度 取組みテーマ 活動報告

報告時間目安：2分

オールジャパン型 技術セミナーの推進

■「支部行事 全国展開」

日本鋳造工学会 各支部の講演会、講習会

2022年2月15日

日 程	行 事 名	開催場所	支部名	全国展開可否	全国展開
2021年7月	第101回鋳造技術部会	宮城県	東北支部	7/16開催済	
2021年8～9月	鋳造方案勉強会(学生及びYFE)	WEB開催	関東支部	全国版に昇格	○
2021年9月	ものづくりプロジェクト(YFE活動)	秋田県産業技術センター	東北支部	×	
2021年9月	現場改善発表会	WEB開催	北陸支部	△(22年度以降で検討)	
2021年9月10日	関西鋳造懇話会	WEB開催	関西支部		○
2021年9月11日	アルミニウム合金ダイカスト実践講座	WEB開催(有料)	東海支部	○	○
2021年10月	3つのシンカ合同報告会	シャインズ&リモート	東海支部	×	
2021年10月9日	鋳鉄の基礎講座	WEB開催(有料)	東海支部	○	○
2021年10月16日	アルミニウム鋳物講座	WEB開催(有料)	東海支部	○	○
2021年11月	鋳造技術講座	富山大学	北陸支部	×	
2021年11月	YFE研修会 鋳造技術研究会		中国四国支部		
2021年11月	学生向け 育成講演発表会&ポスターセッション	シャインズ&リモート	東海支部	×	
2021年11月	東北支部第29回YFE大会	青森県	東北支部	○	
2021年11月13日	鋳鉄の基礎講座	WEB開催(有料)	東海支部	○	○
2021年12月	鋳造技術講演・講習会		中国四国支部		
2021年12月2日	支部講演大会	たかつガーデン&WEB開催	関西支部	○(他支部は聴講のみ)	○
2021年12月9日	YFE勉強会	WEB開催	関西支部	○	○
2021年12月10日	関東支部設立50周年記念講演会	早稲田大学&WEB開催	関東支部	○	○
2021年12月17日	関西鋳造懇話会	WEB開催	関西支部		○
2022年2月	第102回鋳造技術部会	青森県	東北支部	検討中	
2022年2月4日	東海YFEフォーラム2021	WEB開催	東海支部		○
2022年2月12日	東海支部技術講演会	WEB開催	東海支部	○	○
2022年2月18日	現場技術講演会	未定	関東支部		
2022年3月	YFE研修会		関西支部	×	
2022年3月3日	技術講習会(鋳造セミナー)	WEB開催	関西支部	○	○
2022年3月15日	関西鋳造懇話会	WEB開催	関西支部		○
2022年3月16日	関東支部学生講演会	WEB開催	関東支部	○	○
2021年度時期未定	なぜなぜ勉強会(東海地区鋳造技士会と合同)	未定	東海支部	×	
未定	九州鋳物研究会	未定	九州支部		

15行事(東北、関東、東海、関西)の展開

開催トピックス

◎WEB活用により、ほぼ全てのイベントを開催。

◎ **DXの潮流を先取りした
若手育成にチャレンジ。**

鋳物コンテストに代表される

実習・見学リアル系イベントの実施が困難になったが、

★学生対象**CAE活用オンライン教育パッケージ**

(仮称) バーチャル鋳造実習

「方案勉強会→自ら方案设计→流動凝固解析

→専門家による評価」を実施

総括(まとめ)

次世代型教育プログラム

(IT活用&実習融合)の検討をすすめる。

 鋳造に関する
技術伝承の推進
 と
若手人材の育成

支部行事 全国展開 + 鋳造基礎オンデマンド講座開設

39/49

戦略課題 2

'22年度 取組みテーマ (案)

報告時間目安：3分

オールジャパン型 技術セミナーの推進

■「支部行事 全国展開」

(東北、関東、東海、関西 企画行事)

日程		行 事 名	開催場所	支部名	全国展開可否	2022年2月15日 全国展開
2021年7月	第101回鋳造技術部会	宮城県	東北支部	7/16開催済		
2021年8~9月	鋳造方策勉強会(学生及YFE)	WEB開催	関東支部	全国版に昇格		○
2021年9月	ものづくりプロジェクト(YFE活動)	秋田県産業技術センター	東北支部	×		
2021年9月	現場改善発表会	WEB開催	北陸支部	△(22年度以降で検討)		
2021年9月10日	関西鋳造部会	WEB開催	関西支部			○
2021年9月11日	アルミニウム合金ダイカスト実践講座	WEB開催(有料)	東海支部	○		○
2021年10月	Bつのシンカ合同報告会	シャインズ&リモート	東海支部	×		
2021年10月9日	鋳造の基礎講座	WEB開催(有料)	東海支部	○		○
2021年10月16日	アルミニウム鋳造講座	WEB開催(有料)	東海支部	○		○
2021年11月	鋳造技術講座	富山大学	北陸支部	×		
2021年11月	YFE研修会 鋳造技術研究会		中国四国支部			
2021年11月	学生向け 育成講演発表会&ポスターセッション	シャインズ&リモート	東海支部	×		
2021年11月	東北支部第29回YFE大会	青森県	東北支部	○		
2021年11月13日	鋳造の中級講座	WEB開催(有料)	東海支部	○		○
2021年12月	鋳造技術講演・講習会		中国四国支部			
2021年12月2日	支部講演大会	たかつガーデン&WEB開催	関西支部	○(他支部は聴講のみ)		○
2021年12月9日	YFE勉強会	WEB開催	関西支部	○		
2021年12月10日	関東支部設立50周年記念講演会	早稲田大学&WEB開催	関東支部	○		○
2021年12月17日	関西鋳造部会	WEB開催	関西支部			○
2022年2月	第102回鋳造技術部会	青森県				
2022年2月4日	東海YFEフォーラム2021	WEB開催				
2022年2月12日	東海支部技術講演会	WEB開催				
2022年2月18日	現場技術講演会	未定				
2022年3月	YFE研修会					
2022年3月3日	技術講習会(鋳造セミナー)	WEB開催				
2022年3月15日	関西鋳造部会	WEB開催				
2022年3月16日	関東支部学生講演会	WEB開催				
2021年度時期未定	なぜなぜ勉強会(東海地区鋳造技士会と合同)	未定				
未定	九州支部研究会	未定	九州支部			

各支部への協力要請
(オンライン開催)

移動時間・コストの障壁なく、
全国一斉に開催可能

支部行事のオンライン開催を継続

'22年度 新企画

■ 鋳造基礎オンデマンド講座開設

会員向け育成
プログラム構築
1年目

(例)

- ・映像で学ぶ「鋳造の基礎」
- ・学会所有 講座テキスト

会員は

「いつでも どこでも 気軽に」勉強できる
(20分程度/コマ)

- ・就職後、上司・先輩に聞きづらいこと
- ・教科書で自習しても分からないことを、学会の動画コンテンツで学べる

⇒ 個人会員の増加へ！

質疑応答 (約 15分)

[若手人材育成]

- ① 鑄造の基礎技術講座 + 「今さら聞けない○○学」
- ② 学生向け「鑄造技術方案勉強会」
- ③ 支部行事 全国展開&オンデマンド講座

〔本日の進め方〕

- | | | |
|-------------------------|-----------------|-----|
| 1. 会長挨拶 | 会長 清水 一道 | 5分 |
| 2. 長期ビジョン ロードマップ策定活動 報告 | 長期ビジョン委員長 白川 博一 | 15分 |

3. 活動テーマ報告 & 意見交換

〔若手人材育成〕

- | | | |
|---------------------------|--------------|-----|
| ① 鑄造の基礎技術講座 +「今さら聞けない〇〇学」 | 企画委員長 菅野 利猛 | 5分 |
| ② 学生向け「鑄造技術方案勉強会」 | 企画実行委員 茂泉 健 | 10分 |
| ③ 支部行事 全国展開 & オンデマンド講座 | 人材育成委員長 吉田 誠 | 5分 |
| ————— 質疑応答 15分 ————— | | |

〔学会の知名度向上〕

- | | | |
|---------------------|-------------|----|
| ④ 学会ホームページ リニューアル | 広報委員長 野田 善之 | 3分 |
| ⑤ 非会員・学生向け向けコンテンツ発信 | 広報委員長 野田 善之 | 4分 |

〔SDGsに繋がる基礎研究〕

- | | | |
|----------------------|----------|----|
| ⑥ 新たな研究部会設置 「CN研究部会」 | 会長 清水 一道 | 5分 |
|----------------------|----------|----|

————— 質疑応答 20分 —————

4. 長期ビジョン ロードマップ正式始動 宣言

3. 活動テーマ報告 & 意見交換

[学会の知名度向上]

④ 学会ホームページ リニューアル

⑤ 非会員・学生向けコンテンツ発信

担当 広報委員会 野田理事

学会ホームページ リニューアル

報告時間目安：3分 43/49

戦略課題 3	'21年度 取組みテーマ	'22年度 取組みテーマ
情報発信による 学会の 知名度向上 (素形材の 魅力発信)	■ 本部ホームページのリニューアル 学会サイト マイページ 会員データベースクラウド システム管理企業 運用 学会事務局 ＜会員情報の変更＞ オンライン更新・閲覧 ＜会員情報に関する問い合わせ＞ オンライン検索・閲覧 ＜年会費の支払い＞ オンライン クレジットカード決済可能（振込も可） オンラインで領収書発行 ＜講演会・講習会の参加申込＞ マイページから申込 マイページで申込内容確認（過去の申込も閲覧可） ＜講演会・講習会の参加費支払い＞ オンライン クレジットカード決済可能（振込も可） ＜学会情報＞ ＜会員限定＞ 会員マイページのポイント！！ ■ オンラインで会員登録情報を更新できる。 ■ 会員情報検索が可能。 ■ 会員限定情報（鑄造工学便覧など）を受け取ることができる。 ■ オンライン クレジット決済が可能。	会員向けサービス開始 学会ホームページから 会員マイページへアクセス可能 '22年度 情報配信（企画中） ■ 会員専用サイトコンテンツ 鑄造基礎オンライン講座、など ■ ストーリー性のあるイベント動画 鑄造方案勉強会、鑄物コンテスト、など

会員向けサービス開始

学会ホームページから
会員マイページへアクセス可能

'22年度 情報配信（企画中）

■ 会員専用サイトコンテンツ
鑄造基礎オンライン講座、など

■ ストーリー性のある**イベント動画**
鑄造方案勉強会、鑄物コンテスト、など

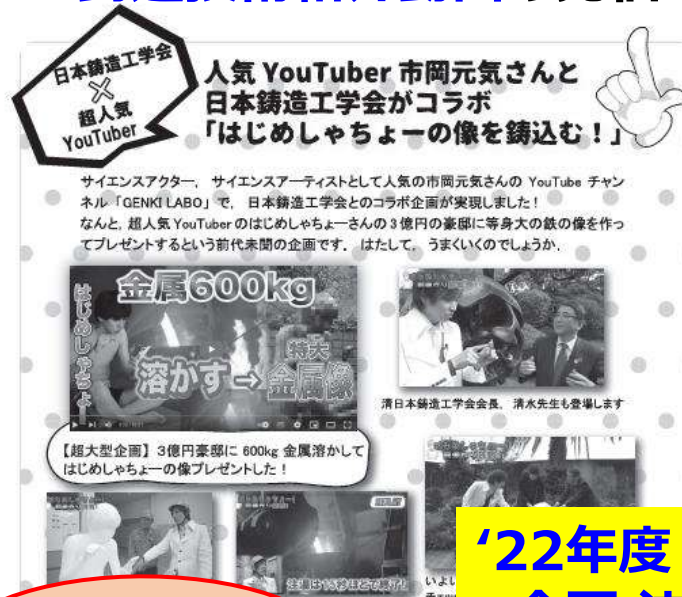
戦略課題 3

'21・'22年度 取組みテーマ

報告時間目安：4分

情報発信による
学会の**知名度向上**
(**素形材の**
魅力発信)

■ 鑄造技術紹介動画の発信



**5ヶ月で
40万回視聴！**

**'22年度 第2弾
企画 決定！**

コロナ禍での撮影で大変でしたが、皆様のご協力の下、鑄物の魅力を伝えられる良いコンテンツとなりました。

'22年度 新企画

■ 学生（大学・高専・高校）向け特別講義

- ・学校出前授業（本部 & 支部会員）

多くの教育現場のものづくり実習において、
鑄造実習が無くなりつつある。



若者が鑄物を知る機会が失われている！！

鑄造工学会会員が
学校を訪問し、鑄物
の魅力を伝える



**リアルな対面講義にこだわり、学生へもの
づくりへの熱い思いを伝えたい！！**

3. 活動テーマ報告 & 意見交換

[SDGsに繋がる基礎研究]

⑥ 新たな研究部会設置 「カーボンニュートラル」

担当 清水会長

新たな研究部会の設置 「カーボンニュートラル」

46/49

戦略課題 1	'21・'22年度 取組みテーマ		報告時間目安：5分																																
SDGsに対応する 技術革新に繋がる 基礎研究の推進	鑄造協会との連携																																		
	カーボンニュートラル委員会（'21.8.18）																																		
	鑄造協会との連携	「特別委員会設置」 （'21.7.30設置）																																	
	<table><tr><td><取組み分担></td><td>協会</td><td>学会</td></tr><tr><td>[現状把握] [CO2排出量]</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>[省エネ] [新技術] [改善事例収集]</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>[代替え] [再生エネルギー活用]</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>[CO2回収・再利用]</td><td>—</td><td>—</td></tr></table>	<取組み分担>	協会	学会	[現状把握] [CO2排出量]	○	○	[省エネ] [新技術] [改善事例収集]	○	○	[代替え] [再生エネルギー活用]	—	—	[CO2回収・再利用]	—	—																			
	<取組み分担>	協会	学会																																
[現状把握] [CO2排出量]	○	○																																	
[省エネ] [新技術] [改善事例収集]	○	○																																	
[代替え] [再生エネルギー活用]	—	—																																	
[CO2回収・再利用]	—	—																																	
[現状把握] CO2排出量調査 [回答協力事業所数]																																			
	<table><tr><td></td><td>2020年</td><td>2019年</td><td>2018年</td></tr><tr><td>鑄鉄</td><td>86 誘導炉64, キュボラ22 アーク炉1</td><td>46</td><td>49</td></tr><tr><td>鑄鋼</td><td>10 誘導炉・アーク炉4</td><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>銅合金</td><td>12</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>軽合金 (アルミ)</td><td>23 ダイカスト10を含む</td><td>3</td><td>3</td></tr><tr><td>精密鑄造</td><td>4</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>鑄造以外 (砂・中子・加工工場、等)</td><td>12</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>計</td><td>147</td><td>57</td><td>63</td></tr></table>		2020年	2019年	2018年	鑄鉄	86 誘導炉64, キュボラ22 アーク炉1	46	49	鑄鋼	10 誘導炉・アーク炉4	4	5	銅合金	12	2	3	軽合金 (アルミ)	23 ダイカスト10を含む	3	3	精密鑄造	4	—	—	鑄造以外 (砂・中子・加工工場、等)	12	2	3	計	147	57	63		
	2020年	2019年	2018年																																
鑄鉄	86 誘導炉64, キュボラ22 アーク炉1	46	49																																
鑄鋼	10 誘導炉・アーク炉4	4	5																																
銅合金	12	2	3																																
軽合金 (アルミ)	23 ダイカスト10を含む	3	3																																
精密鑄造	4	—	—																																
鑄造以外 (砂・中子・加工工場、等)	12	2	3																																
計	147	57	63																																
		'22年度 新企画																																	
		■ 基礎研究（CN:カーボンニュートラル）の推進																																	
		■ 大学・企業ネットワークを活用した CNの基礎研究の推進																																	
		担当：CN研究部会（新設）																																	
		研究部会の活動内容																																	
		○ 材料のリサイクルに関する研究 （素材の成分調整，サプライチェーン構築など）																																	
		○ 省エネルギー対策に関する研究 （エネルギー回収法、低コスト溶解設備の開発など）																																	
		○ 新エネルギー供給設備に関する研究 （アンモニア，水素などを使用する設備開発など）																																	

質疑応答 (約20分)

[学会の知名度向上]

- ④ 学会ホームページ リニューアル
- ⑤ 非会員・学生向けコンテンツ発信

[SDGsに繋がる基礎研究]

- ⑥ 新たな研究部会設置 「カーボンニュートラル」

[本日の進め方]

1. 会長挨拶 会長 清水 一道 5分

2. 長期ビジョン ロードマップ策定活動 報告 長期ビジョン委員長 白川 博一 15分

3. 活動テーマ報告 & 意見交換

[若手人材育成]

① 鑄造の基礎技術講座 +「今さら聞けない〇〇学」 企画委員長 菅野 利猛 5分

② 学生向け「鑄造技術方案勉強会」 企画実行委員 茂泉 健 10分

③ 支部行事 全国展開 & オンデマンド講座 人材育成委員長 吉田 誠 5分

質疑応答 15分

[学会の知名度向上]

④ 学会ホームページ リニューアル 広報委員長 野田 善之 3分

⑤ 非会員・学生向け向けコンテンツ発信 広報委員長 野田 善之 4分

[SDGsに繋がる基礎研究]

⑥ 新たな研究部会設置 「CN研究部会」 会長 清水 一道 5分

質疑応答 20分

4. 長期ビジョン ロードマップ**正式始動** 宣言

今回、皆さんと意見交換をさせていただいた

第3期長期ビジョン

戦略課題 & 推進テーマ ロードマップ[°]

‘22年度からの**正式始動**を宣言します。

学会会員の皆様

および 関係協力機関の皆様

本活動に ご理解、ご協力をお願いします。

公益社団法人日本鑄造工学会